

## 令和4年度 第3回かすみがうら市地域公共交通会議

### 議 事

報告第4号 乗合タクシーの運行体系の変更について

議案第3号 令和4年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

かすみがうら市地域公共交通会議構成員名簿

該当	No.	団体名	役職名	氏名
第1号	1	かすみがうら市	市長(会長)	宮嶋 謙
第2号	2	関東運輸局茨城運輸支局	首席運輸企画専門官	國下 裕司
	3	関東運輸局茨城運輸支局	首席運輸企画専門官	仲野 俊二
	4	茨城県政策企画部交通政策課	交通政策課長	寺田 明弘
	5	茨城県土浦土木事務所	道路整備第二課長	原 伸行
	6	茨城県土浦警察署	交通課長	湯本 学
第3号	7	関鉄グリーンバス(株)	代表取締役社長	白鳥 賢
	8	関鉄観光バス(株)	本社営業センター長	大塚 英明
	9	(有)千代田タクシー	代表取締役	染谷 雄一郎
	10	(有)美並タクシー	代表取締役	白井 忠
	11	霞ヶ浦交通(株)	代表取締役	島田 豊
	12	(有)まゆ観光	代表取締役	大橋 孝一
	13	(有)神立観光	代表取締役	斉藤 日出夫
第4号	14	(有)鶴観光バス	代表取締役	鶴町 乙比古
	15	(一社)茨城県バス協会	専務理事	澤島 政志
第5号	16	(一社)茨城県ハイヤー・タクシー協会	専務理事	服部 透
第6号	17	関東鉄道(株)労働組合	書記長	中村 正之
第7号	18	かすみがうら市議会	議長	岡崎 勉
第7号	19	かすみがうら市区長会	会長	西尾 晴男
	20	かすみがうら市老人クラブ連合会	会長	佐藤 俊治
	21	かすみがうら市PTA連絡協議会	会長	岡田 輝也
	22	かすみがうら市商工会	会長	川井 義久
	23	地域女性団体連絡会	会長	斉藤 二三子
第8号	24	筑波大学大学院システム情報工学研究科	教授	谷口 綾子
第9号	25	土浦市	都市政策部長	船沢 一郎
	26	行方市	企画部長	幡谷 恭一
	27	かすみがうら市	市長公室長	横田 茂
	28	かすみがうら市	保健福祉部長	幕内 浩之
	29	かすみがうら市	都市建設部長	根本 和幸
	30	かすみがうら市	産業経済部長	松延 孝之
	31	かすみがうら市	教育部長	坂本 重男

## 報告第 4 号

## デマンド型乗合タクシー運行体系の一部変更について

下記の通り運行体系の変更を検討しておりますのでご意見等ございましたら書面協議用紙のその他の欄にご記載いただきますようお願いいたします。

## 1 運行体系一部変更の目的

市交通会議では、自家用車の運行が難しい高齢者等の移動手段としてデマンド型乗合タクシーを運行しています。

デマンド型乗合タクシーの令和 3 年度利用実績は 4,440 人で、令和 2 年度実績比 84.5%と新型コロナウイルス感染症影響もある中ではありますが、利用者は減少しております。令和 5 年 4 月からの運行については、利用者増加及び利便性向上のため、下記のとおり運行体系の一部変更を予定しております。

## 2 変更概要

### ① 一部乗降箇所での地区越え運行の実施及び、地区外乗降箇所の追加

当市乗合タクシーは霞ヶ浦地区、千代田地区の 2 地区に分割し運行をしておりますが、利用者の利便性向上のため、自宅から異なる地区の一部乗降箇所において乗り継ぎ不要で行き来することができるように地区を越えた運行を実施します。また、市内外の事業者を圧迫することがないように十分に精査した上で、市外乗降箇所の追加を検討します。

※地区越え運行は全ての乗降箇所ではなく、指定乗降箇所のみで実施する。

※運賃は 2 乗車分（600 円）とする。

※行き帰りとも自宅がある地区の事業者が担当する。

### ② 運行料金の値下げ

区分	現行	改正
一般	600 円	300 円
障害者、小学生	300 円	300 円
介添者、未就学児	無料	無料

※1 乗車 600 円（障害者・介添者・小学生：半額、未就学児：無料）から、1 乗車 300 円（未就学児：無料）に変更とする。

※運賃の値下げに伴う運賃収入減については、広報周知等による利用者増加策を実施し、令和 3 年度実績（1,898,300 円）を令和 5 年度の目標とする。

# 令和4年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価 (地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月 日

協議会名: かすみがうら市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
関鉄グリーンバス(株)	系統名:霞ヶ浦広域バス 運行区間:玉造駅～土浦駅	令和4年度の計画については新型コロナウイルスによる利用状況が改善されると見込み利用者数及び収支率目標を設定した。 学生向けの通学定期券「スクールパス」の広報周知を実施した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数 目標: 36,500人 実績: 30,105人</li> <li>・収支率 目標: 67% 実績: 47.7%</li> </ul> 令和4年度実績は、コロナ禍の影響も緩和してきたためか、利用者数は前年22,300人に対し30,105人と大きく改善された。収支については前年度7,164千円に対し、今年度8,814千円とこちらも改善された。いずれも目標値には届かなかったものの、前年度より回復という結果となった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新中学生、新高校生に向け通学乗車券「スクールパス」の広報周知を強化し、バスの利用促進につなげる。</li> <li>・コロナ禍における安全性の確保と広報周知を実施。</li> </ul>

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	(協議会による一次評価の際は記入不要)
-------------------------	---------------------

## 事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

令和5年1月 日

協議会名:	かすみがうら市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<ul style="list-style-type: none"><li>・かすみがうら市地域公共交通計画の基本的な方針 市民の移動ニーズの高い土浦駅方面へアクセスできる路線のため、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金等を活用し、路線の維持とさらなるサービス向上を図る。</li><li>・上記を踏まえたフィーダー系統維持の目的・必要性 霞ヶ浦広域バスは土浦市、行方市、当市を横断しており、3市補助によって運行している。当市霞ヶ浦地区、行方市においては基幹病院である土浦協同病院、土浦駅に接続する唯一の路線のため、通勤・通学だけでなく、買い物、通院目的で使用され、広域的な交流を支える重要な路線となっている。地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金を活用し、市民の移手段の確保とサービス向上による利用者増加を図っていく。</li></ul>

## 令和4年度 かすみがうら市地域公共交通活性化協議会（茨城県かすみがうら市） （地域内フィーダー系統確保維持事業）

### 地域の公共交通等の現況・課題

当市は平成17年3月に霞ヶ浦町と千代田町との合併により誕生し、両地区が交わる市域中心にJR常磐線神立駅がある。公共交通は、路線バス、霞ヶ浦広域バス、デマンド型乗合タクシーの3つが柱となっており、バスについては、市西側の千代田地区のみ路線網がある。一方の霞ヶ浦地区では、平成21年に利用者減により路線バスが廃止となってしまったことから広域交通を目的とし、霞ヶ浦広域バスを運行している。また、令和元年10月1日から神立駅を中心に市街地循環並びに、基幹病院を結ぶ路線の運行を開始した。

### 交通計画の基本的な方針／定性的な目標

霞ヶ浦広域バスは土浦市、行方市、当市を横断しており、3市補助によって運行している。当市霞ヶ浦地区、行方市においては基幹病院である土浦協同病院、土浦駅に接続する唯一の路線のため、通勤・通学だけでなく、買い物、通院目的で使用され、広域的な交流を支える重要な路線となっている。地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金を活用し、市民の移動手段の確保とサービス向上による利用者増加を図っていく。

### 目標を達成するために行う事業の今年度実施状況

#### 【施策の実施状況】

- ・千代田神立ラインモビリティマネジメント：市街地循環部分の周知のため、沿線保育園、幼稚園の年長児が描いた絵をバス車内で掲示
- ・情報提供の充実：バス車内におけるフリーWi-Fi整備、リアルタイムバス位置情報の提供
- ・広域バス及び、スクールバスの周知：令和5年2月～3月に新高校生（現中学3年生）に向けた周知チラシの配布を予定している。
- ・高齢者運転免許返納事業の制度変更：免許返納した高齢者の移動手段の確保のために交通系Cカード2万円分を交付していたが、乗合タクシーの利用促進のため、乗合タクシー回数券の交付に変更した。

### アピールポイント

- ・霞ヶ浦広域バス、千代田神立ライン車内環境の整備  
霞ヶ浦広域バスではモバイル電源用USBコンセントを設置、両バス車内ではWi-Fi環境を整え利便性向上を図っている。
- ・スクールバス（通学定期）の発行  
3市にまたがった運行のため、長距離を利用する学生も多い。そのため、スクールバスを発行し、通学利用の支援と促進に努めている。
- ・リアルタイムバス位置情報の提供  
バス位置情報の提供により利用者の利便性向上を図っている。

### 資料2-3

#### 茨城県かすみがうら市



面積	156.60km <sup>2</sup>
人口（R4.4.1時点）	40,622人
15歳未満	4,252人
65歳以上	13,040人
高齢化率	32.1%

### 交通計画の計画期間

令和3年4月～  
令和8年3月

### 協議会開催状況

（令和4事業年度に係るもの）

- ・第1回（令和4年5月27日）  
令和3年度事業報告について
- ・第2回（4年6月22日）  
かすみがうら市生活交通確保維持改善計画について
- ・第3回（令和5年1月予定）  
地域内フィーダ系統事業評価について
- ・第4回（令和5年2月予定）  
令和5年度かすみがうら市地域公共交通会議事業計画について